

平成 30 年度 すこやかメールマガジン 第 604 号【洪水から身を守る】 7 月 26 日配信

報道によると、西日本豪雨による死者は、14 府県で 223 人（平成 30 年 7 月 17 日警察庁）にも上り、避難を強いられている方々は、16 府県で約 4,800 人と発表されています。（平成 30 年 7 月 17 日総務省消防庁）

お亡くなりになった方やご遺族、そして被災された方々に心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。

さて、今回は、洪水から身を守るために「親子でできる備え」について紹介します。

◆ポイント 1◆ どんな危険があるのかを事前に調べてお家で話し合っておこう！

- ・ハザードマップで自宅の周辺の危険を調べる。（浸水深度・土砂災害警戒区域など）
- ・災害ごとに指定されている避難所を確認しておく。
- ・危険予測や避難情報の手順を練習する。

（例）NHKなどのデータ放送や「川の防災情報」「高解像度降水ナウキャスト」などのサイトの利用方法を知る。

◆ポイント 2◆ 浸水が始まる前に逃げよう！

- ・ドアの前が 30cm 浸水するとドアが開けられないことがある。（高齢者や幼児では 10cm）
- ・膝の深さまで浸水すると歩くのが難しい。
- ・親が不在のときに頼れる近所の大人や安全な公共の施設を知っておく。

◆ポイント 3◆ 安全に逃げる方法を知っておこう！

- ・マンホールが外れていたり、道路沿いにある水路が見えなかったりする可能性もあるので、傘や杖などで確認しながら歩く。
- ・遠回りでも安全な道を通る。（アンダーパスや浸水しやすい箇所を避ける）
- ・万が一に備え、避難所へ向う途中であっても避難できるような高台やビルなどを確認しておく。

過日、我が家では、台風の接近に備えて小学 1 年生の息子と安全な避難の仕方について考えてみましたが、まだハザードマップは読めなかったので、実際に歩いて確認することにしました。指定避難所である小学校へは、橋を渡り、用水路沿いを歩き、校門脇に用水路もありました。いくら通り慣れた道とは言え、学校にいる時は下校しないで、迎えを待つこと。家から一人で避難する時は、隣の学区の公民館の方が安全だということが分かりました。また、道順を確かめると、普段通る道には、アンダーパスがあり、迂回路を探す必要があることも分かり、実際に歩いてみることの大切さを痛感しました。

もしも、道路が冠水し始めたら、自宅の 2 階に避難リュックを持って上がることも決めておきました。

幸い、まだ一人で避難する場面はありませんが、調べておかないと分からないことだらけでした。

ぜひ、豪雨や洪水に備えて、国土交通省防災教育ポータルサイトの動画「洪水から身を守るには～命を守るための3つのポイント」を家族で御覧になってみることをオススメします。<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/education/index.html>【Ｙ】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索